

# 除草シール工法施工要領書

平成27年3月



エムケービルド株式会社

適応条件

項目	適用基準
用途	アスファルトとコンクリート継目部に生える草
自然条件	降雨、降雪時は施工不可能
路面温度施工条件	4℃以上
路面温度条件	-22℃～55℃

調査

目視調査からの評価

目視調査でアスファルトとコンクリート継目部に雑草が発生している場合、雑草が舗装破壊になると、察知した場合、路面性状調査を実施し、詳細を把握する。

工法選定

維持工法

シーリング注入工法

テープ式貼付工法

除草剤工法

材料

1. ポリフレックス#1

材料名	荷姿
ポリフレックス#1	15kg/箱

\*この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物取集場所に処分する。

\*保管は1年間

\*雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

2. プライマー

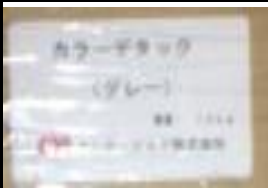
プライマーは、「アスファルトプライマー」又は、同等品以上とする。

材料名	荷姿
アスファルトプライマー	1kg/缶

\*保管は凍結させないこと。保管温度は4℃～37℃

3. 珪砂

デタック粉(グレー色)又は、同等品以上とする。

材料名	写真	荷姿
カラーデタック		10kg

品質管理

項目	基準値	ASTM規格	試験
コーン針入度	5mm～7mm	ASTM D5329	
弾性度	40%以上	ASTM D5329	
軟化点	88℃以上	ASTM D36	
比重	1.2	ASTM D2729	
伸度(25℃)	30cm以上	ASTM D113	
引張接着性	500%以上	ASTM D5329	
流動性60℃/5時間	3mm以下	ASTM D5329	
折り曲げ性	-18℃にて折り曲げても割れが生じません。	ASTM D3111	

日常施工温度管理



項目	基準値	備考
路面温度	4℃以上	
ポリフレックス#1加熱温度	193℃～204℃	
骨材散布する際の表面温度	93℃～121℃	
交通開放	40℃以下	

施工機械


1. 除草機械 ビリーゴート

ビリーゴート全体写真	刃の写真
	

## 2. 路面切削及び清掃器具

路面切削器具	清掃器具
	

## 3. 溶解釜

溶解釜	溶解釜
 <p>スーパーショット 60</p>	 <p>EZ メルター-500型</p>

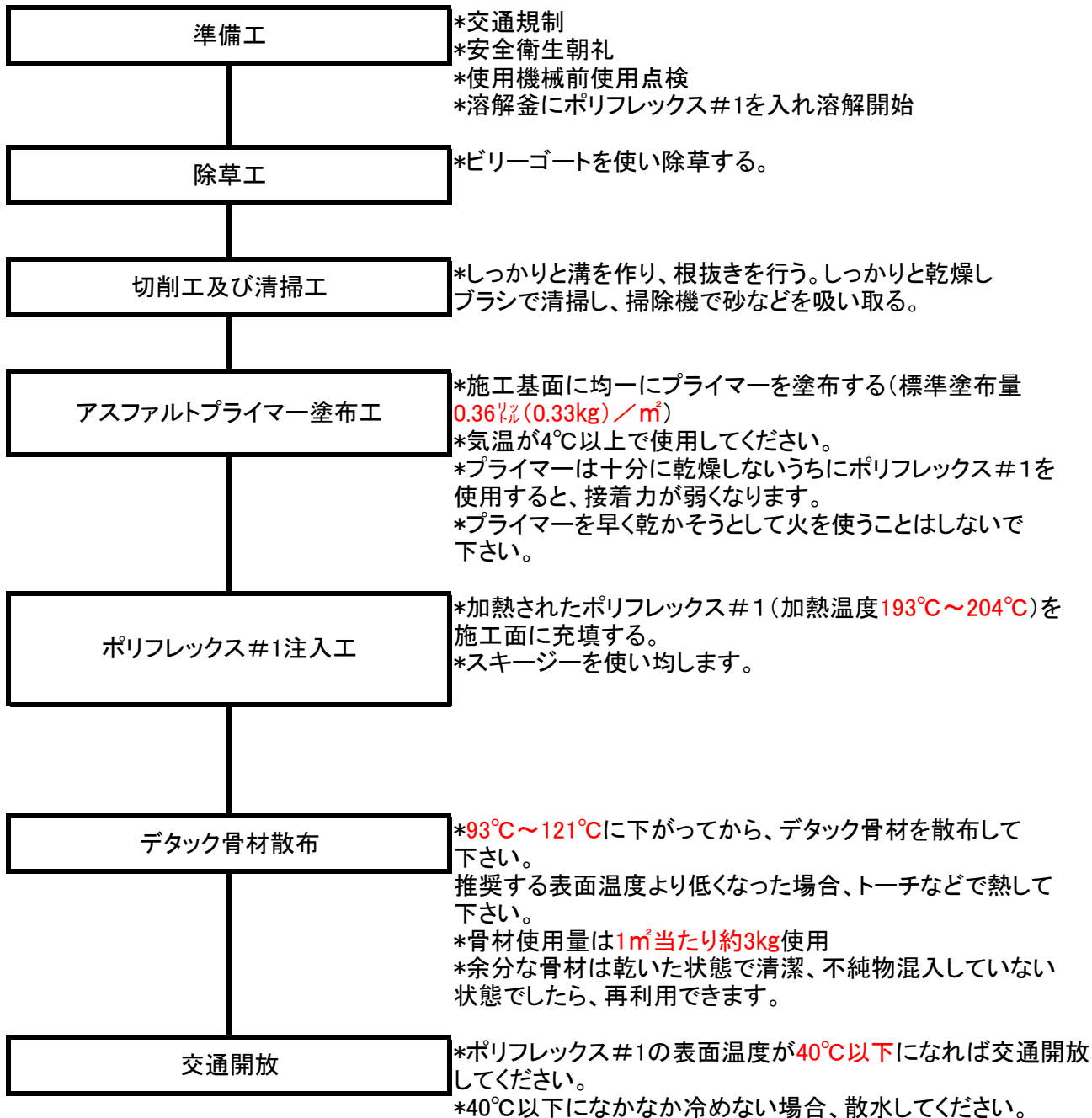
## 4. 工具

非接触赤外線温度計	コテ
	

その他

- \*消火器
- \*トーチバーナー
- \*プロパンガス
- \*手袋
- \*水

## 施工方法





# 除草シール工法施工手順



①除草作業



②除草作業  
除草したところを再度カッターを使い、切削する



③清掃作業  
バーナーなどで乾燥後、ブラシで箇所を磨き、掃除機で砂などを吸い取る。



④プライマー塗布作業  
プライマーを塗布する。(塗布量 $0.36\text{kg}/\text{m}^2$  (0.33kg) /  $\text{m}^2$ )



⑤シールを充填  
 $193^{\circ}\text{C}\sim 203^{\circ}\text{C}$ に温めたシール材を充填い、コテで均す。



⑥除草シールした箇所としていない箇所